

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和3年11月12日（金）10時00分～11時05分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、新井安全審査官、小西係長、高木係長、横山係長、
久川係員

澁谷企画調査官、高木技術参与（テレビ会議システムによる参加）

福島第一原子力規制事務所

石口上席放射線防災専門官、前田原子力防災専門官（テレビ会議システムによる
出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当9名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 2号機オペレーティングフロア（オペフロ）内シールドプラグ穿孔部調査について
 - ✓ 2号機シールドプラグ上段と中段の隙間等の汚染状況を把握するため、新規にシールドプラグ表面を穿孔して線量測定することを計画しており、当該新規穿孔箇所を検討するにあたり、シールドプラグ上部の線量調査を10月7日に実施した。
 - ✓ 線量調査の結果、シールドプラグ中央部・継ぎ目部で線量が高く、線量にバラつきがあることを確認した。
 - ✓ 線量調査結果を踏まえ、新規穿孔箇所を決定し、11月下旬から12月中旬にかけて穿孔作業を実施し、12月中旬から再度穿孔箇所調査を実施する予定。
 - 3号機から取り出した新燃料の共用プールでの外観点検実施について
 - ✓ 2020年3月12日に、3号機から取り出し共用プールに保管中の新燃料1体の外観点検のためチャンネルボックス（以下「CB」という。）を取り外そうとしたところ、規定荷重で取り外せなかったため、外観点検を実施できなかった。
 - ✓ 今回、あらためて、当該新燃料を気中に吊り上げて状況を確認し、気中でのCBの取り外し作業や外観点検を実施する。
 - ✓ 当該新燃料1体及びそれが特異な新燃料であるかを確認するための別の新燃料1体について、2021年12月から2022年1月までに、外観点検等を実施する予定。
 - 工程表（循環注水冷却、使用済燃料対策、燃料デブリ取り出し準備）について
 - ✓ 共用プールにおける使用済燃料の空き容量を確保するため、2022年3月から乾式キャスクによる搬出を開始する予定。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
 - 使用済燃料プール対策スケジュールについて、原子炉建屋燃料プールに残っている各号機からの燃料取り出し及び共用プールからの乾式キャスク貯蔵庫へ

の搬出に係る全体計画や当面の取り出しの順番等最新の状況を説明すること。

- 本年8月に海底火山の噴火で発生した軽石が漂着する可能性があるが、想定される福島第一原子力発電所への影響や対策について、説明すること。

6. その他

資料：

- 2号機オペフロ内シールドプラグ穿孔部調査について
- 3号機から取り出した新燃料の共用プールでの外観点検実施について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 使用済燃料プール水質状況について